

日本漢詩文における規範と破格 —平安中期の「国風」の発見を見直す Sinitic Literature in Heian Japan: Universal Standards Versus Local Practices

開催日：2019年5月9日（木）15時～16時30分

場所：戸山キャンパス33号館16階第10会議室
使用言語：日本語、英語

講演者：Brian Steininger

（ブライアン・スタイニンガー）氏
プリンストン大学東アジア学部助教授



プロフィール：ブライアン・スタイニンガー氏は中国文芸の收拾・応用を中心に日本古代・中世を研究している。初の単著Chinese Literary Forms in Heian Japan: Poetics and Practice（平安中期における漢詩文—詩論と実践）は2017年に刊行された。現在は鎌倉期の学問における写本と版本の相互関係を研究している。博報財団招聘の訪問学者として来日中。

主催：早稲田大学大学院文学研究科国際日本学コース（Global-J）
スーパーグローバル大学創成支援事業 早稲田大学国際日本学拠点
早稲田大学総合人文科学研究センター 角田柳作記念国際日本学研究所
共催：早稲田大学日本古典籍研究所

コメンテーター：川尻秋生（早稲田大学文学学術院）
司会：Kristopher Reeves（早稲田大学文学学術院）
河野貴美子（早稲田大学文学学術院）

問合せ先：河野貴美子 kono@waseda.jp